

12/21 もち米生産組合から鏡もちをいただきました



名寄市もち米生産組合(村中洋一組合長)が1年の感謝の気持ちを込め、今年収穫した「はくちょうもち」3升を使って作られた鏡もちを寄贈。お正月の間、各庁舎のロビーに飾られました。

鏡もちは市役所のほかに市民文化センターなどにも寄贈

12/23 クロスカントリー名寄大会



なよろ健康の森で全日本スキー連盟B級公認第21回クロスカントリー名寄大会を開催。選手たちはコース脇の保護者やコーチ、チームメイトなどから声援を受けながらゴールを目指しました。

今回は全国から462人がエントリー

1/5 新年を祝い交礼会



この日、名寄地区・風連地区でそれぞれ新年交礼会が開催されました。参加者は名寄産もち米を使用したお酒や本みりん、それらで作られたお屠蘇などで祝杯し、共に新年を祝いました。

多くの市民が共に新年を祝う

12/22 地方創生タウンミーティング



市民文化センターで開催され、およそ120人の市民が参加しました。前半はまちづくり講演会。ロス・フィンドレー氏(外国人初の観光庁認定観光カリスマ)や中山哲郎氏(株式会社JTBスポーツビジネス推進担当部長)、加藤市長らを講師に、アウトドア観光やスポーツツーリズム、冬季スポーツの拠点化などによる地域の活性化について講演しました。後半は、講演を行った3人と観光関係者2人を加えてパネルディスカッション。スポーツを中心とした交流人口の増加に向けて名寄の足りないところや、こうしたらよいなどの意見が語られ、参加者は今後の名寄のまちづくりについて考えるよい機会となりました。

冬季スポーツを中心としたまちづくりについて考える機会に

PICK UP 飯田豊さんが森林づくりコンクールで優秀賞



「平成27年ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」において、風連日進地区の飯田豊さんが優秀賞を受賞されました。飯田さんは市内に5ヘクタールの森林を所有。そのなかで適切な間伐や枝打ちなどの管理により、健全な森林づくりを実践したことが地球温暖化防止対策に貢献する森林づくりの取り組みとして評価され、今回選出されました。受賞にあたり「指導・協力していただいた皆さんに感謝したい。愛情込めて34年間育ててきた森林を、今後もよりよいものにしていき、今回の成果を通じて森林が持つ役割を多くの方々に知っていただければ」と飯田さんは周囲への感謝と受賞の喜びを述べました。

3部門のうち「森林所有者・カラマツ部門」で優秀賞

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

1/9 2016 輝け！ 新春なよろもちつき大会

もっともち米プロジェクト主催のもちつき大会が駅前交流プラザ「よろーな」で開催。最初になよろあすば恋2015が「おもちのきもち」を披露した後、もちつきをスタート。なよろ名誉もち大使がもちつきについて説明しながら進み、イベントに訪れた子どもたちもちつきに挑戦しました。つきあがったもち丸められ、お雑煮として来場者へ提供されました。



もちつきシーズン真っ盛り☆つきたてのおもちは最高！

1/8 雪質日本一フェスティバル 会場づくりがスタート



2月12日（金）スタートの雪質日本一フェスティバルに向け、名寄駐屯地第4高射特科群第317高射中隊が中心となり会場づくりが始まりました。今年のメインステージの大雪像は「ドラえもん」です。

開始式では、感謝とともに支援が安全に行われることを祈願

1/9 名寄消防出初式



西3条通（南6丁目）で行われ、名寄消防署職員と名寄消防団員が今年1年の無事故、無災害を祈願しました。式は人員報告、分列行進に続き登梯が行われ、団員4人が妙技を披露しました。

高さ7メートルの梯子に登り、軽やかに披露

1/10 平成28年名寄市成人式



成人式が市民文化センターで開催され、対象の新成人206人が華やかな振り袖やスーツに身を包み会場に集結しました。式典では国歌斉唱、市民憲章の朗唱、小野教育長、加藤市長のあいさつに続いて、新成人を代表し新田紗弓さんが誓いの言葉を述べました。また、アトラクションとして今回成人を迎えた名寄市出身のシンガーソングライター武石紫乃さんのミニライブも実施。その後、会場を移行行われた交流会では、久しぶりの再会を果たした友人たちと談笑したり記念撮影をするなど、参加者は20歳の門出を共に祝いました。

初のEN・RAYホールでの成人式